

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



目次

新会長挨拶
高浜ビル取り壊しに伴う
風の子引越し問題について・・・2

クラブ活動報告、活動報告・・・3

ボランティア大募集、バザー品募集
夕会便り・・・4

風 サスペンス劇場（田中連載）
寄付のお礼・・・5

バリアフリーよもやま話
第61回「ウォシュレット」（岡本連載）
・・・6

虫めがね～病気・事故・事件体験～
恵司のつぶやき・・・7

メンバーのつぶやき・・・8

2017年
7
月号

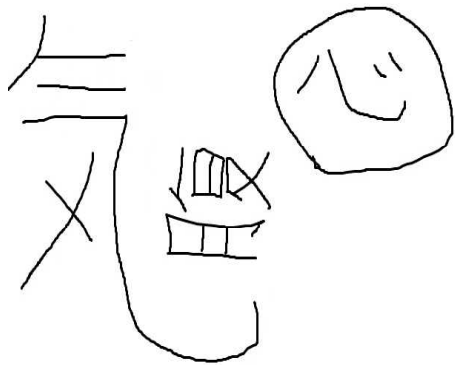


新会長 挨拶

雨に打たれ鮮やかな色の紫陽花が心和む時季、私こと田中あけみが風の子会の新会長に任命されました。私の人生のシナリオにはない事です。私の出来ます事は、メンバーの声を拾い風の子会が毎日明るく楽しく過ごせます通所施設と言えますよう試みるようにしたいです。

今の風の子会は職員の数が不足しております。どうぞ、ボランティアの皆様ご協力をお願い申し上げます。そして“つながり”を大切にしたいです。

風の子会会長 田中 あけみ



←これはなんと読みまか?
私はこれから心掛けます。



高浜ビル取り壊しに伴う風の子引っ越し問題について

転居プロジェクト報告

駐車場を借りることでできました！！

6月に入り、うれしい知らせが移転プロジェクトに届きました。懸案事項であった駐車場を見つけることが出来ました。場所は新しい実習所から歩いて7分と少し不便ではありますが、駐車場も広く、車も入れやすい場所です。しかもキャブ4台まとめて借りることが出来ました。

移転プロジェクトは駐車場も決まり、移転に向けてかなり前進しました。だが、まだまだやるべきことはたくさんあります。実習所のレイアウトや引っ越しの日程など、それをひとつひとつ解決していきながら、移転をスムーズに行えるようにしていきたいと思います。そして、メンバーにとってあまり負担にならないように考えていきたいと思います。

プロジェクト：岡本裕介

クラブ 活動報告

今回は、部員が少なかったのでフール部は一時解体され、残りの部員はバラバラに他の部に行きました。

料理部ではフルーツポンチとクレープを作り、余ったらしく甘いもの好きな人たちに配っていました。テーブルゲーム部は人数が2人に戻り、少ないながらも2人専用ゲームなどをして楽しみました。

また、今回は麻雀をぶっ通しでやるという集まりが出来、大勢のメンバーはそこに行きました。

田村 亮彦

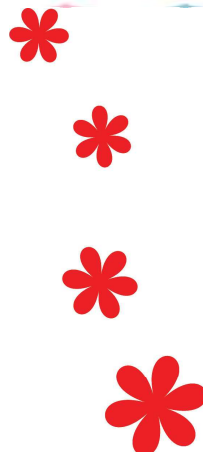


活動 報告



去る五月十三日（土）に花田春兆（政國）風の子会会長が亡くなり、五月十九日（金）、二十日（土）の両日、桐ヶ谷斎場にて通夜・葬儀告別式が行われ、メンバー・職員ボランティアが参列をしました。同じく五月十九日（金）午後二時三分ごろ、東京赤坂・ロータリークラブの橋本さんが来所され、内職の依頼（説明）をしに来ました。

田中 聡



ボランティア大募集

常日頃、ボランティアの皆さんにはお世話になっています。ですが日々の活動や行事で、ボランティアを必要としています。皆さん、風の子会を助けて下さい。よろしくお願ひします

詳しくは・風の子会高浜生活実習所
TEL 03-3474-9674
MAIL kazenokokai@gmail.com



田中 聡

バザー一品募集

風の子会は今年も区民祭りに参加します。今年もバザー一品販売を頑張りたいと思っています。そこでみなさんをお願いします。家の奥にある不要品をバザー一品に出していただけるとありがたいです。（ただし壊れている物やひどく汚れている物はお受けする事はできませんので、あらかじめご了承下さいませ。）おしゃれでかわいいもの大歓迎です。風の会みんなで精一杯販売しますので、よろしくお願ひします。

家電製品、CD、DVDは取り扱いません。

古本は大歓迎です（文庫本や単行本は特に。コミックや大判の本はご遠慮下さい）。

洋服もよろしくお願ひします（破れていたり、汚れの目立つ物はご遠慮下さい）。

港区内の方の場合はこちらから取りに伺います。

港区外の場合、一度電話で確認させてください。

詳しいことを確認したい方はお電話下さい。

風の子会の電話番号は03-3474-9674です。



夕会便り

5月の夕会の時に、歌と踊りの集いの配役を決めました。

次に話したのはお金の話です。みんなで風の子会の赤字をどう黒字にするか話しました。

その後ケース記録の改善案が井出さんから挙がりました。そのあとみんなでケース記録が必要かどうかをそれぞれ話し合いで決めました。僕の意見はケース記録はあった方がいいと思います。

というのは風の子会での普段の様子もわかるし、帰ってきて家族に報告できるからだからあった方がいいです。

和紙はがきについては、和紙はがきは汚れも出るし移転先を数年先に出た後、次の企業さんの迷惑になるのでどうするかみんなで考えた結果、汚れ対策をした上で継続してやっていく事になりました。和紙はがきはとても大切な物なので・・・。

塚田 愛基

風〇〇サスペンス劇場

タカコは上司のユースケに相談をした。すると上司のユースケは「仕事の続きは僕がやっておくから・・・」と意味深な言葉を言っただけでタカコを送り出す。その時タカコは、まだそれがユースケの企みとは知らずY君とデートした。普通の人ならば高級フレンチ・レストランに行くのだが、Y君は車いすを利用して行けるので、バリアフリーのあるレストランで食事をした。話しも盛り上がり、食事もおいしく食べていた。そして、タカコはお手洗いにいく為に席を立つ。Y君はその隙をぬらい、タカコが飲んでいるウーロン茶の中に薬を入れた。タカコがお手洗いから戻ってきて毒入りのお茶を飲んだ。Y君とタカコは、レストランを跡にしてそれぞれの家へと戻った。

SATOSHI・TANAKA

寄付のお礼

（29年5月）

青木 和代様、江田 美知子様、金子 豊様、中井 英代様
丸毛 波津様、司城 不二様、原田 洋子様、仙頭 邦子様
佐久間 健様、田中 柳三様、田中 聡様、田中 紀義様
諏訪 敏子様、中嶋 仁様、小倉 英克様、江尻 公一様
三木 友直様、諸角 始子様、掛橋 竜也様、金子 和子様
渡部 一元様、右田 磨子様、飯田 キ工子様、末吉 ミヨ子様
山崎 真理子様、阿部 りょう子様



バリアフリーよもやま話

第61回 「ウォシュレット」

岡本 明

「おしりだって洗ってほしい。」というキャッチコピーでヒットしたウォシュレットのCMを覚えている方も多いと思います。ウォシュレットはTOTO（株）の商品名で、一般名称は温水洗浄便座といいますが、他社のものもウォシュレットと呼ばれることが多く、ほとんど一般名詞化しているといってもいいかもしれません。いまや温水洗浄便座は広く普及し、平成28年の内閣府の調査では、日本の一般家庭での普及率が80%を越えるそうです。一般家庭のほかにも、オフィス、デパート、ホテル、駅などで採用されるようになり、必需品といってもいいほどです。



この温水洗浄便座、もとは医療福祉機器だったというのをご存知でしょうか。実は1964年、アメリカ・フロリダ州のベンチャー企業、アメリカン・ビデ社が痔の患者さん用に開発した医療用便座“ウォッシュ・エア・シート”が最初の製品なのです。アメリカではこれは痔の患者以外にも、体が動かしにくい患者のためのトイレとしてもっぱら病院で使われていたそうです。

同年、TOTO（株）の前身の東洋陶器（株）はこれを輸入して国内販売を始めました。しかしその製品は温度調節がなかなかうまくいかず、熱湯が出たり、冷水が出たり、問題が多かったようです。私も、作家の遠藤周作がエッセイに「お尻を火傷した。二度と使わない。」と書いていたのを覚えています。そこで東洋陶器（株）では改良、国産化を進めていたのですが、実は国産初の製品は、ライバル会社の伊奈製陶（株）（後にINAX、リクシル）が1967年に発売した、温水洗浄便座「サニタリイナ 61」でした。激しい開発競争があったのかもしれませんが、「サニタリイナ 61」の販売期間は1967年～1971年でした。東洋陶器（株）が「ウォシュレット」を発売したのは1980年です。湿気に弱い電子部品への対策も必要で、雨にさらされても大丈夫な電信柱についている機器の部品を使ったり、お尻についてはあまり資料がないので社員が自分たちでデータを取ったり、試したり、と開発には苦労したそうです。

発売当初は、広告を出そうとしても、トイレの広告なんてとんでもないと断られたりしてなかなか普及が難しかったようです。数少ない最初のユーザーは、鳥取県か島根県のホテルの料理長さんだったという話を聞いたことがあります。当時、昭和天皇がその地を訪問された際に、お泊りのホテルの料理長さんが、トイレでお尻を拭いた手でお料理をおつくりするのは恐れ多いということで購入した、という話でしたが、真偽のほどは分かりません。

普及し始めたのは、1982年、「おしりだって洗ってほしい」のキャッチコピーを使ったCMが話題になってから、ということらしいです。しかしそれははじめは、ゴールデンタイムに「おしり」とはなんだ、と抗議が殺到したそうです。

ところで、海外からの観光客の方々は、温かい便座、消臭機能まで備えた日本のハイテクトイレに感激するそうですが、海外ではこの温水洗浄便座をほとんど見かけません（発明者のアメリカン・ビデ社では現在も販売しているようですが）。どうやら、海外では盗まれてしまうことが多いのと、水道には石灰分が多いので、すぐにパイプが詰まってしまうトラブルが多発することが理由のようです。

温水洗浄便座は日本のハイテク技術が実現した、一般の人にも、障害のある人や高齢の人にも役に立つ、ユニバーサルデザインの製品といってもいいでしょう。

虫めがね ～病氣、事故、事件体験～

私は、3回救急車で運ばれた経験があります。初めては高校2年生の時に、体育の時間軽い熱中症に掛かり倒れてしまいました。2回目は、事業団で芝公園の花の手入れ班に所属していた時です。小屋で休憩していたのですが、気分が悪くなり救急車を呼んでもらい搬送されました。これも軽度の熱中症でした。散歩中の犬の鎖に引っかかり転倒し左肘を骨折、全治1ヶ月最初の処置は、「ヒューマンぷらざ」の保健室でもらいその後、青山の整形外科で診て（治療）もらいました。4回目は、昨年3月の日曜の夜自宅で転倒し脱臼、整形の医師が不在の病院が多く暫く救急隊員が探してくれた結果慶応病院で初療処置してもらってからCDデータと紹介状を持って虎ノ門病院でCTを撮影してから脱臼箇所を処置してもらいました。全治1～2月。慶応～では、ギブスは拒否して三角巾で固定しました。

三木 直人



昔から大きな病氣はしていませんが強いて
いうなら今回の事故です
あの時はほとんど覚えていないし一年ぐらい
ほとんど記憶がありません
悲しく辛い10年です

森 杉



三島すかい吊り橋
から去り



作者：近影



メンバーのつぶやき

睡眠欲と性欲は、人並みかそれ以上にあると自覚しているが、食欲はここ数年徐々に確実に落ちてきている。咀嚼力と腕の動きの低下で、食べるという行為が億劫になってきているのだ。それでも栄養失調あるいは餓死という間抜けな結果に陥らぬように、必死に食べるという行為を続けている。物欲は、強い方だと思う。生来持ち合わせている蒐集癖は大人になってからひどくなる一方だ。F1のミニカーやアニメのDVDなど、一度買い始めると止まらなくなる。ここ8年くらいで、映画のパンフレットが200冊を超え、今にも崩れそうな形に山積みされている。父にはいつも呆れられているが、蒐集癖気質は死んでも治らないだろう。

いろんな欲があるけれど、あなたが一番強い欲はどんな欲？

小野塚 航

題名：野球小僧

私が子供の頃は巨人が強く巨人、大鵬、玉子焼きといわれ王、長嶋（O、N）を中心として他国の人もなしで日本人だけで一時代を戦って来ましたが、江川問題が終わり落ち付いたとおもっていたら今度は、野球賭博事件が発生してしまいました。

近年はクライマックスシリーズや、FA問題で人気を取りもどそうとしていますがいかかなものか？

掛橋 竜也

私は特撮ヒーローが大好きです。とくにだいすきなのは列車戦隊トッキュウジャーです。列車の力を借りて悪を倒します。トッキュウジャーの武器は5人でやるレンゲツバスカーです。そして、列車に乗って操縦します。5体の列車が合体します。名前はトッキュウオウです。2014年2月16日、日曜日に始まりました。イマジネーション。面白かったです。私はグリーン役の俳優さん、顔が似ています。ナンバー1は列車戦隊トッキュウジャーです。

柳川 敬事

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ~定価40円~

企画編集メンバー

和柳松田小太
栗川本村野田
頭 塚
太敬恵亮 圭
郎事司彦航子

幸三塚田太
木田中田

高直愛
史人基聡稔

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>
ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

